

# 教育は子どもが 未来に受け取るギフト、 最高のギフトを私たちが与えます。



子どもたちの周りで起きていることを知って下さい。

## 〈学力観の変化〉

学力観は、かつての思考力・判断力・表現力から、主体的な学び、対話的な学び、深い学びへと、進化していきます。知識を得るだけでなく、知識を活用することが評価されます。問題を解決するために周りとは協同することも求められています。

## 〈環境の変化〉

私立高校の授業料無償化が始まり、将来を見据えた高校選びが、以前より強く求められています。倍率から判断しても、公立高校へ進学することは易くなりました。時代は「行ける学校」から「行きたい学校」へと変化しています。

## だから学指会が「している」こと

### 一、わかるから自分でも勉強できる

勉強ができないのは「わかっていない」から。わかった「つもり」も「わかっていない」と同じ。だから学指会は理解させる授業にこだわります。深く理解することが、点数を上げ、成績を改善できるベストな方法だと確信しています。つまり、私たち学指会で成果を上げている生徒たちは、演習不足ではなく、理解不足であった生徒たちです。その学習法は、大学受験にも通用する「一生ものの勉強法」になります。

### 二、定員制クラス指導のメリット

授業の目的はテストで結果を出す。特に定期テストでは計画的な学習が大切になります。学指会の授業は、テストに合わせた授業設計が用意されています。塾の授業がペースメーカーになります。少人数制指導のメリットは、個々の弱点に合わせた課題を与えることが可能だということ、また理解できるまで何度も質問できる環境が用意されているということです。

### 三、熱く・楽しく・勉強しよう

塾で勉強する目的は①テストでの点数アップ ②実力の向上 ③志望校合格です。その目的を達成するためには成果が出る仕組みが不可欠です。全国大会に出場するような部活やクラブチームは必ず厳しい練習を継続しているのと同様に、勉強にも厳しいトレーニングが必要です。指導は厳しいかもしれませんが、「楽しく、熱く勉強しよう!」という考えのもと運営しています。

### 四、自学力を身につける

成果につながる三つの要素は①集中して臨む ②復習し記憶する ③解き直しをすることです。特に解き直す習慣を大切にしています。また確実に結果を出すために、家庭学習とセットで指導することを意識し、家庭での計画的な学習を推奨するために学習管理をしています。

### 五、学習の記録で管理する

中学生の場合、一週間の家庭学習の目安は約1000分です。その改善ができれば成果はあらわれます。塾での学習時間は350分、六割以上が家庭での学習時間なのです。また、いつ・どこで・何をを具体的に決める(計画する)ことが大切になります。学指会では『学習の記録』を活用し自学力アップを狙っています。

仲間と競いながら、勉強する楽しさを知る。